

東日製作所 第45回東京モーターショー2017に出展 - 東日が考える次世代型デジタルトルクレンチとは -

2年前、設計開発や営業などを交えた3つのグループを立ち上げ、製品化に関係なく最新の技術やデザインを取り入れた「夢のあるトルクレンチ」のコンペを社内で開催しました。

当時、社内で発表した3つの「夢のあるトルクレンチ」の中から、自分達で実現が可能な技術、デザインを集めたものが今回の第45回東京モーターショー2017で発表する「東日が考える次世代型デジタルトルクレンチ」のコンセプトモデルです。

◆東日ブース：東7ホール E7102

CEM4.0+ 次世代型デジタルトルクレンチ

- ①3.5インチ TFT 液晶タッチパネル搭載。②顔認証による作業員認証が可能。
- ③多彩な通信インターフェイスを搭載 (WiFi・Bluetooth®・USB)。
- ④音・光・振動で作業員にお知らせ、マンマシンインターフェイス向上。
- ⑤QRコード読み取り機能付き。
- ⑥標準交換ヘッドはエクステンションにより延長可能。ICチップでトルク値を自動補正。



CEM4.0+
(標準ヘッド)

POKAYOKECAM

- ①世界初！カメラを搭載した次世代トルクレンチ。
- ②カメラによる位置検出で、二度締め防止や締付け順序の管理が可能。
- ③ボルト位置の検出に大掛かりなシステムは不要！



CEM4.0+
(POKAYOKECAM)

JIXY

- ①レンチをひくだけで容易にボルトの軸力計測が可能。
- ②個人差無く、締付けられたボルトの軸力を確認可能。
- ③ボルトのデータ入力やボルトの加工は不要。
- ④電源不要、現場での作業に最適。⑤測定データを無線で転送。



CEM4.0+ (JIXY)

パートナートルクレンチ TONY

- ①コミュニケーションを取りながら共に作業を行うパートナートルクレンチ。
- ②音声と光と振動で作業員とコミュニケーション。
- ③専用スタンドでワイヤレス充電！
- ④顔認証による作業員認証が可能。



TONY

【東日製作所】 <https://www.tohnichi.co.jp/>

株式会社東日製作所(本社：東京都大田区、設立年：1949年5月、代表取締役：辻修)はトルク機器のグローバルニッチトップ企業¹です。

Your Torque Partnerのブランドスローガンの下、トルク技術を通じて安全な社会の実現に寄与致します。また4つのサービス(製品サービス・ピフォアサービス・アフターサービス・ワールドワイドサービス)により安心して東日製品がお使い戴けるよう努力しております。

¹ 2014/3/17発表、経済産業省の「グローバルニッチトップ企業100選」より